

水野忠邦

【みずのただくに】

(1794-1851)

江戸後期の老中。唐津藩主から浜松藩主に転じ、寺社奉行・大坂城代・京都所司代などを歴任。
1834 年老中となり、天保の改革を断行したが、失敗して退いた。

- 幕末辞典 -